

		チェック項目	はい	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	93.8%	法令:1人当たり3㎡ 放デイ44.9㎡÷3㎡=14.9名分
	2	職員の配置数は適切であるか	93.8%	職員一人当たり2人もしくは3人の割合で配置 (法令10人に対して2人の職員)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6.3%	外の階段を上げるため、バリアフリー化は出来ていないが、必ず職員と共に上がる配慮をしている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%	児童ごとに担当を決めて支援会議やミーティングを実施している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0%	昨年のアンケートの結果から、事業所で行っていることを発信していくよう変更している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0%	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0.0%	外部評価は受けていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100.0%	月1回外部講師の研修がある
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	家族面談や送迎時のコミュニケーションでニーズを把握し計画作成を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0.0%	バンビ独自のアセスメントツールを使用している為
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	93.8%	外部職員と常勤職員を中心に立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100.0%	毎月変化させている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	93.8%	長期休暇や休日は遠くへ外出したり、時間のかかるおやつ作りをしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	個別と集団で作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	93.8%	・時間が取れない時がある ・申し送りノート・業務日誌・企画書などで全職員がわかるようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	87.5%	職員の終了時刻がバラバラなので、常勤に意見が集まるようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	93.8%	支援経過の記録を取っている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	利用開始間もない児童は3か月、標準は6か月でモニタリングを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100.0%	ガイドラインのア～エの項目を折り混ぜ、支援を行っている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100.0%	参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100.0%	月ごとの予定を頂いたり、こちらからも利用予定を渡している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100.0%	移行の時はもちろん、過去の情報も頂いている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100.0%	移行するときは情報提供を行い必要な時には対応している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100.0%	他機関とも連携している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	87.5%	健常の子どもに遊びに来てもらっている。制度上出かけて行っている交流はできない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100.0%	参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	送迎時や連絡帳にて行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100.0%	バンビの取り組み・支援と同じような対応をお願いしている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	契約時・変更時に文書で渡している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%	送迎時や面談等で聞き取り助言している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100.0%	交流会を行った

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	体制が出来ている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	ブログを発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	100.0%	雇入れ時・退職時の誓約や日々取り組んでいる
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	口頭だけでなく文書で情報伝達をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0.0%	児童が不安定になることも予想されている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100.0%	災害時の対応や感染症が発症した時の対応等を発信している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	シェイクアウト訓練や避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	虐待研修・アンガーマネジメントの研修がある
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%	保護者の同意を得ている 支援計画に記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100.0%	お母さまからお聞きしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%	ミーティングで共有し、申し送りノートにも記載している